

食料品

# 寄附のお願い



こんなものがあったら、  
3/28（水）に駱駝  
（らくだ）カフェまで  
持ってきてください！



- ◎ 例えば農家で  
「新鮮だけど少し傷があるから出荷できない・・・」
- ◎ 例えば家庭菜園で  
「たくさん作りすぎちゃって、食べきれない・・・」
- ◎ 例えば商店やスーパーで  
「まだ賞味期限残っているけど、包装が破れちゃった・・・」
- ◎ 例えばご家庭で  
「お中元で食用油もらったんだけど、賞味期限までに使い切れない・・・」

**寄附いただいた食料品は、「楽だ食堂」を利用する親子に提供のご飯の材料として使わせていただきます。**

☆「楽だ食堂」はこんなところですよ！

仕事に子育てに忙しいお父さん・お母さんが、たまには「楽だなあ、ほっとするなあ」と思える場所として、また、留守番しながら晩ごはんを食べている子供たちが、みんなで温かいご飯を食べられる場所として「楽だ食堂」は誕生しました。

ボランティアで運営し、寄附食料品の利用を通じて食品ロスの削減にも取り組みます。

会 場 横川商店街・星のみち 駱駝（らくだ）カフェ（西区横川町3丁目4-13）

電話 Tel：082-293-8186 Email：rakudayokogawa@gmail.com

開催日 毎月第3水曜日 17：30～19：30 ※ 次回は3月28日（水）

参加費 こども100円、保護者300円

詳しくは

☆ 「こども食堂」とは？

こどもが1人でも安心して来られる無料または低額の食堂です。

目的は様々ですが、子育てを地域で支えていくための居場所として

現在、急速に広がっており、その数は全国で400～500か所とされています。

## 食品ロス削減キャンペーン「スマイル!ひろしま」

# 食品ロスの削減にご協力を

生ごみの中には、手付かずの食品や食べ残しなど、本来食べられるのに廃棄される、いわゆる「食品ロス」が多く含まれています。市では、食品ロス削減キャンペーン「スマイル!ひろしま」を展開し、市民と事業者が一体となって、食品ロス削減の取り組みを進めています。

固業務第一課(☎504-2748、☎504-2229)

スマイル!ひろしま

食べものに、  
もったいないを、もういちど。  
食品ロスをなくして、  
広島に笑顔を広げよう。



広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会

### 食品ロスの削減や食べ残しゼロへのご協力を

**食**品ロスの国内での排出量は、WFP(国連食糧支援機関)の1年間の支援量の約2倍に当たる621万トン(平成26年度推計)です。市でも、食品ロスは生ごみの約3分の1を占めており、これを削減することは、社会の大きな課題となっています。このため、市民団体、事業者、行政で構成する広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会では、食べものに対する「もったいない」の気持ちを取り戻し、食品ロスをなくして広島に笑顔を広げる食品ロス削減

キャンペーン「スマイル!ひろしま」を展開しています。

「スマイル!ひろしま」では、キャンペーンの一環として、飲食店やホテル、旅館などの料理の食べ切りや持ち帰りを推進する「食べ残しゼロ推進協力店」と、主に食品を取り扱う小売店の食品ロスの削減を推進する「食品ロス削減協力店」の登録、PRを行っています。

取り組み内容や協力店一覧などを市ホームページに掲載していますので、ぜひ活用していただき、外食や買い物での食品ロス削減へのご協力をお願いします。

市HP [食品ロス削減](#)

[検索](#)

### interview

食べ残しゼロ推進協力店登録第1号店の「ジャム専門店 駱駝カフェ」代表・松浦直樹さん(写真)にお話を聞きました。



当店は、ジャムを最後まで食べ切ってもらうことをコンセプトにしてお客様には試食して納得してもらった上で購入していただいていた。そんな中、テレビで「スマイル!ひろしま」のことを知り、当店も協力できることはないかと考えて応募しました。

ジャムは、パンやヨーグルトに使うだけでなく、調味料の一つとして料理やドリンクなどに使えば、楽しみながらおいしく最後まで食べることができます。ジャムのいろいろな使い方をお客様にご提案することが、食べ残しゼロにつながると思っています。

また、当店では、ジャムの空き瓶を回収しており、持ってきた人にはクッキーをプレゼントしています。

小さなお店だからこそできることもあると思っていますので、これからもさまざまな取り組みを通して食品ロス削減に協力できたらと思います。



ジャム専門店 駱駝カフェ  
西区横川町三丁目4-13 ☎293-8186  
午前11時~午後9時(金・土・休日前午前0時まで)  
休不定休